

## 2007年度 春キャンプ報告書

(CL 2回生 山下 裕)

**日時** 4月30日～31日

**場所** 百井(ももい)キャンプ場とその周辺において実施

**目的** 新入生と上回生の触れ合える場を作り親交を深めるほか、キャンプを通じて自然のなかで宿泊するとはどのようなものなのか、ということを実際に体験してもらう。

### 時系列

4月29日

集合 12:00

レクリエーション 13:00～17:00

調理 18:00

食事 20:00

就寝 23:00

4月30日

起床 9:00

食事 9:30

片付け 10:00

出発(解散) 11:00

### 団体装備

テント(六テン2張り 四テン1張り) 鍋 バーナーヘッド

ガス缶 食料

### 持ち物

リュックサック 飲み物 着替え 防寒具 タオル ヘッドライト

歩きやすい靴(スニーカーなど) 雨具(レインコート・折りたたみ傘)

お米 二合

2・3回生用持ち物

寝袋 断熱マット

## ～参加者の言葉～

昨年はなかった春キャンプ。実は自分は3回生にして初参加でした。探検部には珍しく屋根つきのロッジでオートキャンプだったのでかなり軽い気持ちでした。が、それが大きな間違いでした。

なにより新入生が多い!!まあたくさん入ってくれるのは嬉しいのですが、予想をはるかに上回ったので今でもかなり驚いています。

企画としては、クイズラリーは良かったと思います。楽しかったし 北山杉の道を歩くのは気持ちよかったです。準備を一人でやってくれた山下君ありがとう。あのコースを1日3周はたぶん世界記録です。やはりコースが悪かったですね。ごめんなさい。次からは天ヶ岳にしましょう。そのときも山下君には1日3周お願いしますね。

### 3回 笠井

4月29日 自分はツーリング班として原付でキャンプ場に向かう。途中、道を間違え、別の峠を越えて花背山の家へ。間違えに気づき、引き返す。その後、百井峠を越えて、キャンプ地到着。昼御飯を食べ(コンビニにて購入)、ハイキングへ。事前に後輩が用意してくれたクイズを解きながら、村を越えて山に入る。自然を楽しみながら、山を半周して元のキャンプ場へ。暗くなる前にテントを設営し、食事の準備。パエリアと汁を製作。ただ、量が多すぎたのか、うまく炊けず。一番おいしかったのはオリーブオイルで炒めた、しいたけとピーマン。その後、お酒等を飲みながら皆と談笑し、就寝

4月30日 6時30分、寒さで起床。バイトのため、ある程度の片付けを行った後、8時半に出発。9時帰宅。今回の合宿で、「山でふざけてはいけないこと」、「米は大人数の場合一度にうまく炊けないこと」を学びました。

### 3回 羽根

今期初めての新入生を迎えての春キャンプということもあって、いつも以上に用意万全整っていたのですが、一部の部員と連絡が取れない不手際や不注意で怪我をするなど今後気をつけなければならない点もあり、いつも課題になっている調理・片付けに関しても一部に偏っていたりと僕自身もっと積極的に手伝わなければ、と思いました。

春キャンプとしては新入生が楽しめていたので、上記の点を今期気をつける必要があると思います。

### 3回 竹下

若干の山行があると計画書に書かれていたので少しは覚悟できていましたが、途中、川を渡る所が沢山あったので危ないなと思ったりしました。夕食のパエリアは、独特の味と食感でした。

春キャンプ自体は全体的に楽しめたので良かったです。

???

みんなとは別行動をとって山に登ってから参加した結果、約束の時間に間に合わず迷惑をかけてしまったのは申し訳なかった。

また、この合宿でケガ人が出てしまったのは残念だった。

予想以上の参加人数でいろいろと大変だったと思うが、自分を含めて反省の多い合宿となってしまったと思う。

### 3回 松本

春キャンプは、京都府最高峰の「皆子山」に登頂後、百井キャンプ場にて合流という計画でした。

実際は、下山途中で道を間違え、90分もの遅刻をしてしまいました。そのおかげで事態に対処することが出来ず、反省しております。

夕食については、もう少し考えないといけないですね。ただ、あの人数は対応できない気もしますが...

一回生が沢山来てくれたので、その点は良かったと思います。

### 3回 藤田

私用のため、途中参加でオリエンテーリングには出られなかったものの、夜は新入部員や現役部員と楽しく過ごすことができました。キャンプ場の設備等には文句の付けようがありませんでしたが、立地場所がホンマの山の中の為、テント場近くまでは公共交通機関は通っておらず、自分たちの車やバイクでしか行くことが出来ないのがウィークポイントだと思います。百井峠の運転は楽しかったです。

### 3回 鈴木

藤田さん、松本さんと自分は他のメンバーとは別行動で、朝から皆子山に登り、そのまま百井キャンプ場に向かった。予定では14時過ぎには到着していたのだが、下山後に道を間違え、90分近く余計にアスファルトを歩く破目になった。結局16時を回っての到着となり、迷惑もかけてしまった。

事故の話も人が戻って来てから聞くこととなり、ひたすら心配するだけになった。ただ、結果的には致命的なトラブルではなかったようだし、何より一回生に探検部の活動の雰囲気伝えることはできたと感じた。

よって、今後への課題を幾つか残してはいるが、最低限の目標は達成できたと考える。

### 2回 橋崎

春キャンプは今期初めての泊りの合宿でした。目的の一つである、部員同士の交流もあり、ハイキングもなかなかスリルがあり楽しかったです。

個人的にはハイキングの時のコース取りがなっていないと言われたので、つぎに同じような機会があれば同じ轡を踏まないように経験を積んでいきたい。

最後に、一日前から現場入りしたCLお疲れ様でした。

### 2回 溝口

頭を打ちましたが、それ以外私個人としては問題ありませんでした。

しかし、ただ話を聞いていなかっただけなのですが、本当に直前まで山登りすることを知りませんでした。なので、これからは予定よりやや激しめに動くことを前提に準備します…。夕食は大好きな鶏肉が危険性から食べられなくて残念でした。でも初めての泊まりで学ぶことも多く、勉強になりましたし、とても楽しかったです。以上です、お世話になりました。

### 1回 折田

春キャンプはとても楽しかったです。ポトフもおいしかったのでまた食べたいです。ただ、軽いハイキングと聞いていたのに、ハイキングは思ったよりハードでした。でも同回だけでなく上回生とも話せたのでよかったです。

### 1回 岩本

春キャンプは、一言で言うとても楽しく、印象に残った合宿でした。

途中トラブルがあったので心配でしたが、非常にスリルのあるハイキングで楽しかったです。

初めてテントで寝たということもあってその点でも忘れられない合宿になりました。

### 1回 千葉

今回の春キャンプは部員の人との距離を縮めたいと思っていたので、一緒に御飯を食べたり、お酒を飲んだりして楽しかったです。スタンプラリーも難しかったです。結局答え合わせをせずに終わったのがちょっと残念でした。色々ハプニングもあったけどこれも旅の醍醐味だと思っています。また機会があったら参加したいです。

### 1回 川原

自然の中で泊まるのが普段できない事だったので楽しかったです。

1回 津城

かなり山登りがきつかったですけれど、一回生のみんな、上回生の先輩方と交流ができて良かったです。パエリアは微妙だったけど、ポトフはかなり美味しかったです。

1回 乾

山とが登ったこと無いんで、最後の方の坂はちょっとしんどかったです。でも川とかめっちゃきれいで見ていて癒されました。

周りの雰囲気もまさに山ん中って感じで「ああ今凄い探検っぽいことしてるなあ」と今まで味わったことのない体験が出来て良かったです。

大勢で雑魚寝したり、作る時から味までワイルドなご飯も新鮮でした。

山道から帰りの温泉まで本当に楽しかったです。

また機会があったら次はちゃんと靴を用意して行きたいです。

1回 杉原

探検部に入って初めての泊まりがけのイベントだったので、多少風邪気味でも参加しました。昼間は異常もなく順調でしたが、夜になると風邪が悪化してきたため、早く寝ることになりました。風邪をひくと自分のことより人にうつらないかがとても心配だったので、体調管理はとても重要なことだとよくよく実感しました。

翌日は体調も大分良くなり無事帰れたので、楽しく、教訓を受け有意義なものでした

1回 廣谷

春キャンプに際してシエスタ等の関係でなかなか準備に取り掛かれず、あまり褒められた計画とはいえないものになった合宿となってしまったことが心残りである。前日にしか下見にいけず、かなり荒れたコースを経験の少ない新入生の方々に歩かせてしまう結果となったのは、本当に心が痛いばかりである。

食事の面にしても一度に大量の人数の分を作ることが不可能だとわかったのは収穫といいが、正直恐るべき味覚兵器となってしまったのは筆舌に尽くしがたいわけである。このような結果なので、ただただ、反省の残る合宿であった。

CL 山下 裕